



庁舎整備基本設計 庁舎整備検討市民委員会 ニュース

No. 4

2016.12.18

袖ヶ浦市総務部 管財契約課（管財班）TEL 0438-62-2226

第4回庁舎整備検討市民委員会を開催！

庁舎整備検討市民委員会もいよいよ折り返し！

◎第4回庁舎整備検討市民委員会

第4回庁舎整備検討市民委員会が11月18日（金）に開催されました。

今回の委員会では、第2回委員会の振り返りをした後に「利用しやすい窓口や待合スペースについて」というテーマでグループワークが行われました。

委員の皆さんは、先進地視察に行った時のことを思い出しながら、袖ヶ浦市庁舎に活かしたい所を提案していました。

また、7月に実施した「市庁舎整備に関する市民アンケート」の調査結果を報告いたします。



写真：袖ヶ浦市庁舎1階の窓口

庁舎整備検討市民委員会の流れ

第1回検討市民委員会 H28. 5. 17

- ・ 庁舎整備基本計画について
- ・ 最近の市庁舎整備の事例



第2回検討市民委員会 H28. 8. 9

- ・ 市民交流スペースの
活用方法について



第3回 先進地視察 H28. 10. 26

- ・ 場所：立川市、茅ヶ崎市



第4回検討市民委員会 H28. 11. 18

- ・ 利用しやすい窓口や
待合スペースについて



第5回検討市民委員会

- ・ 開かれた庁舎、議会について



第6回検討市民委員会

- ・ 庁舎平面プラン（案）
に対する意見、要望



第7回検討市民委員会

- ・ 提案書の提出



第8回検討市民委員会

- ・ 基本設計プラン説明

～第4回グループワークの様子～

テーマ：「利用しやすい窓口や待合スペースについて」

A・B・Cの3つのグループに分かれ、グループワークを行いました。



今回は、「利用しやすい窓口や待合スペースについて」というテーマでグループワークが行われました。

2回目のグループワークということで、委員の皆さんは馴れた様子で話し合いを進めていました。

第3回市民委員会で先進地視察に行った時のことを思い出しながら、袖ヶ浦市庁舎に取り入れたいことを挙げられていました。

委員の皆さんの利用者としての目線から「利用しやすい窓口や待合スペースについて」の意見をいただきました。

庁舎整備検討市民委員会も残すところ後4回となりました。限られた時間の中ですが、委員の皆さんの意見を参考に基本設計に反映していきたいと考えています。

Aグループ

○わかりやすい窓口案内（個人の意見を分類）

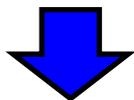
- ・窓口の色分け
- ・イラスト入りのわかりやすいサイン
- ・利用内容を細かく書いた表示
- ・番号・色分け、電光掲示版でひと目でわかる表示
- ・受取案内表示（電光掲示版）を数多く設置する。

○プライバシー保護

- ・カウンターについたて（プライバシー保護）
- ・窓口の仕切り

○総合案内

- ・総合案内のロビーマン（ロビーウーマン）導入（混雑時）
- ・総合受付の上部に庁舎平面図（間取り）を電光表示し、目的地を表示できるようにする。



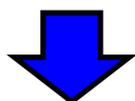
★グループ案

- ・各課を色分けし、色調を明るくする。
- ・案内ボードと各課の色調を統一する。
- ・ひと目でわかる電光掲示版の設置
- ・受取案内表示を各待合ごとに設置
- ・窓口に仕切りを設置し、プライバシーを保護
- ・総合案内ロビーマン（ウーマン）の導入
- ・総合受付の上部に目的の課を案内できる平面図（電光表示、窓口の色分けに対応）

Cグループ

○窓口関係

- ・窓口の机に仕切り（銀行の窓口くらいの高さ）
- ・集合ロビーを中央に
- ・案内板をわかりやすく。でもそれを見て自分で探すのは大変なので、やはりコンシェルジュは必要。
- ・総合案内の優しさ、簡素化（立川市の「ごあんない」の看板が良かった）



★グループ案

- ・待合ロビー、案内は建物のセンターに
- ・案内係（コンシェルジュ）はボランティアの活用
- ・窓口に仕切りが必要（相談用）
- ・事務室との仕切りが必要（パーテーション等）

○待合フロア

- ・各フロアに相談室（プライバシー保護）が必要
- ・TVやBGMがある退屈しないロビー
- ・待合スペースにカフェ・軽食コーナー（打合せができるオープンな感じに）
- ・中央出入り口付近に情報コーナー

○サイン表示

- ・通路を色分けにより明確化
- ・親しみやすく象徴的な総合案内
- ・遊び心を盛り込む（ガウラなど）

○環境

- ・明るさ+節電⇒自然採光を心がける
- ・無機的ではなく温かみのある素材
- ・袖ヶ浦レシピを生かしたレストラン

○バリアフリー

- ・フロアのバリアフリー化
- ・市民生活に関係ある窓口は1階に集約
- ・受付対応状況を電光掲示板にわかりやすく



★グループ案

- ・来る人が楽しく、安心できる庁舎
- ・来る人にわかりやすい庁舎
- ・来る人にあたたかい庁舎
- ・来る人にやさしい庁舎



◎市民アンケート調査結果の概要

18歳以上の市民の方から無作為に1,000名を抽出し、「市民活動の場として開かれた庁舎」についてアンケート調査を実施したところ、514名から回答をいただきました。市民委員会ニュースではアンケート調査結果の一部をご紹介します。

問 来庁する用件

「来庁する用件」では、来庁者の85%以上の用件は、市民、福祉、税金に関するものでした。現在の市庁舎1・2階の窓口にあたる部分になります。

問 来庁時に困ったこと

「来庁時に困ったこと」では、案内誘導・サイン表示が分かりにくい。憩いの場がない、古くて暗い、弱者への配慮がないといったところに不満が多くなっているという結果になっています。

問 庁舎整備に必要と思うもの

「庁舎整備に必要と思うもの」では、防災拠点としての高い耐震性が最も多く、2番目に市民サービス・バリアフリーとなっています。

問 市民に開放できるスペースのデザイン

「市民に開放できるスペースのデザイン」で、「重要である」と答えた方が多かったのは、庁舎のわかりやすい誘導案内がある、市民活動に関係する各部署のサポートが得やすい、会議などのスペースや機能がある、となっています。

詳しい結果については、袖ヶ浦市ホームページ[「袖ヶ浦市庁舎整備に関するアンケート調査の結果をお知らせします」](#)をご覧ください。

印象に残ったこと

- 市民委員は日頃庁舎に良く足を運ぶ人が多いので、そうじゃない人たちにも、市庁舎をもっと身近に感じてほしいという願いが共通してありました。そのためには どうしたらいいか という観点でもう少し話が深められたらいいと思います。
- 袖ヶ浦ならではの庁舎に！という意見に賛成です。今の袖ヶ浦市の課題が少しでも解決できるような工夫が欲しいです。
- 子育て環境日本一を表すものに！
- 文化、芸術に活用できるものに！（美術館も小ホールもありません）
- 市民が集える場に！（多世代の交流、カフェ、一次産業品のPR、障がいのある人たちの雇用の場など、市民の生活に直結する場所に。）
- 市民の“生活感”を大事にする庁舎を！と強く感じます。
- 皆さん熱心です。しかしコストを抜きにした提案も多い。
- 市の役割分担が大切だと感じた。

感想・ご意見

- 若い方の意見を直に聞けないことが残念です。（学生さん、子育て中のママなど）
- ある程度議論が進んだら何分の一かの模型を作り、市役所ロビーに置いて市民に関心を持ってもらうのはどうでしょう。
- 立川も茅ヶ崎も先進ではあるが、当市と同程度の先進例も知りたい。メンテやラッピングコストも考えなくてはいけない。それと人口の移り変わりも。
- 自分の考えを出せたと思う。

質問

問 1

4方向からの市庁舎への入り方となるが、遠いところでは約80mも歩くことになる。案内表示が重要なポイントとなると考えます。

答 1

各入口付近及びエレベーターホールに、ユニバーサルデザインに配慮した効果的なサインや案内表示の設置を検討します。

問 2

新庁舎の吹き抜けはそのまま生かされるのでしょうか。

答 2

7階建て既存新庁舎の吹き抜け部分は、構造的に新たに床等を設けることができないため、そのまま活用することになります。

問 3

教育委員会とそれ以外の行政部局が今は別棟ですが、できれば同じフロアに入るよう、分断されないよう望みます。

答 3

市民アンケート調査の結果では、来庁者の用件は市民、税金、福祉関係の窓口利用が85%以上となっています。この結果から、これらの関係課を優先して1階に配置することが望ましいと考えます。これに併せて教育部を1階に配置することは、面積的に難しいと思われるので2階への配置を検討します。

◎次回の庁舎整備検討市民委員会開催予定

第5回検討市民委員会 H29. 2. 24

- ・開かれた庁舎、議会について

次回の庁舎整備検討市民委員会は、「開かれた庁舎、議会について」というテーマで話し合っています。